

平成26年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年12月3日

上場会社名 ゼネラルパッカー株式会社  
 コード番号 6267 URL <http://www.general-packer.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成25年12月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 名

(氏名) 梅森 輝信  
 (氏名) 小関 幸太郎

TEL 0568-23-3111

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年7月期第1四半期の業績(平成25年8月1日～平成25年10月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年7月期第1四半期	984	2.4	47	47.4	48	34.4	35	32.8
25年7月期第1四半期	960	9.9	31	327.8	36	368.6	26	308.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年7月期第1四半期	3.95	—
25年7月期第1四半期	2.98	2.98

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年7月期第1四半期	4,462		2,870			64.3
25年7月期	4,661		2,866			61.5

(参考) 自己資本 26年7月期第1四半期 2,870百万円 25年7月期 2,866百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年7月期	—	3.50	—	3.50	7.00
26年7月期	—				
26年7月期(予想)		3.50	—	3.50	7.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年7月期の業績予想(平成25年8月1日～平成26年7月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,140	△8.5	90	35.2	90	12.4	54	△3.7	6.09
通期	4,400	△2.5	195	65.5	200	47.3	120	30.8	13.50

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年7月期1Q	8,994,000 株	25年7月期	8,994,000 株
26年7月期1Q	106,123 株	25年7月期	106,123 株
26年7月期1Q	8,887,877 株	25年7月期1Q	8,869,267 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. 四半期財務諸表.....	4
(1) 四半期貸借対照表.....	4
(2) 四半期損益計算書.....	6
(3) 財務諸表に関する注記事項.....	7
(継続企業の前提に関する注記).....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記).....	7
(セグメント情報等).....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、輸出環境の改善や個人消費の回復により、企業収益に持ち直しの動きが見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況のなか、当社は新機種の拡販、新たなマーケットの開拓、海外販売体制の強化に取り組んでまいりました。

当第1四半期累計期間における売上高につきましては、包装システムの販売実績が増加したことから、前年同期に対し23百万円の増収となりました。

収益面につきましては、売上高の増加に伴い、売上総利益は前年同期より増加いたしました。営業利益及び経常利益につきましては、売上総利益の増加に加え、販売費及び一般管理費を前年同期より抑制した結果、前年同期に対し増益となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は984百万円(前年同期比2.4%増)、営業利益47百万円(前年同期比47.4%増)、経常利益48百万円(前年同期比34.4%増)、四半期純利益35百万円(前年同期比32.8%増)となりました。

当社は、自動包装機械製造事業の単一セグメントであります。単一セグメントを品目別に分類した場合における品目別売上高の概況は次のとおりであります。

給袋自動包装機は、販売台数が減少したことから、売上高は379百万円(前年同期比35.4%減)となりました。

製袋自動包装機は、平均価格が増加したことから、売上高は145百万円(前年同期比59.2%増)となりました。

包装関連機器等は、包装システムの販売実績が増加したことから、売上高は222百万円(前年同期比235.1%増)となりました。

保守消耗部品その他につきましては、消耗部品の販売実績が増加したことから、売上高は237百万円(前年同期比9.7%増)となりました。

なお、当社の各四半期の売上高は、受注案件の売上計上時期の偏りと高額案件の有無等により、大きく変動する傾向にあります。一方、販売費及び一般管理費は比較的変動が少ないことから、利益につきましても、売上高に大きく影響されることとなり、各四半期の業績は大きく変動する傾向があります。

## （2）財政状態に関する説明

### （資産）

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は3,541百万円となり、前事業年度末に比べて215百万円減少いたしました。この主たる要因は、売上債権及びファクタリング方式により譲渡した売上債権の未収額の合計額が243百万円増加したものの、現金及び預金が439百万円減少したこと等によります。

固定資産につきましては、当第1四半期会計期間末残高は920百万円となり、前事業年度末に比べて16百万円増加いたしました。この主たる要因は、有形固定資産が10百万円増加したこと等によります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べ199百万円減少し、4,462百万円となりました。

### （負債）

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は1,502百万円となり、前事業年度末に比べて199百万円減少いたしました。この主たる要因は、仕入債務が270百万円減少したこと等によります。

固定負債につきましては、当第1四半期会計期間末残高は88百万円となり、前事業年度末に比べて3百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ203百万円減少し、1,591百万円となりました。

### （純資産）

当第1四半期会計期間末における純資産の残高につきましては、利益剰余金の増加等により、前事業年度末に比べ4百万円増加し、2,870百万円となりました。

## （3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、顧客企業の設備投資需要が不透明な状況となっている中、国内外での競争は厳しさを増してきており、受注環境は引き続き厳しい状況となることが予想されます。

このような状況の中で、当社におきましては、新機種の拡販、新たなマーケットの開拓、海外販売体制の強化などに取り組み、売上高の確保を目指してまいります。

今後の業績の見通しにつきましては、現在までのところ、ほぼ計画通りに推移していることから、見直しを実施しておりません。

以上により、平成26年7月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成25年9月3日発表「平成25年7月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」の業績予想値と変更はありません。

2. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年7月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,911,323	1,472,176
受取手形及び売掛金	992,459	1,235,793
仕掛品	378,706	358,130
原材料及び貯蔵品	295,024	294,718
未収入金	107,539	111,877
その他	72,840	69,252
貸倒引当金	△7	△9
流動資産合計	3,757,888	3,541,939
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	498,032	501,929
土地	298,125	298,125
その他(純額)	11,376	18,358
有形固定資産合計	807,534	818,413
無形固定資産	7,597	15,438
投資その他の資産	88,311	86,408
固定資産合計	903,443	920,260
資産合計	4,661,332	4,462,200
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,260,727	990,624
未払法人税等	57,385	21,274
賞与引当金	—	33,269
役員賞与引当金	7,900	—
製品保証引当金	19,354	14,491
その他	357,324	443,230
流動負債合計	1,702,692	1,502,889
固定負債		
退職給付引当金	37,891	37,655
役員退職慰労引当金	54,300	50,930
固定負債合計	92,191	88,585
負債合計	1,794,884	1,591,475

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年7月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	251,577	251,577
資本剰余金	282,269	282,269
利益剰余金	2,344,378	2,348,387
自己株式	△19,825	△19,825
株主資本合計	2,858,398	2,862,407
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,049	8,316
評価・換算差額等合計	8,049	8,316
純資産合計	2,866,448	2,870,724
負債純資産合計	4,661,332	4,462,200

(2) 四半期損益計算書  
第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年8月1日 至平成24年10月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年8月1日 至平成25年10月31日)
売上高	960,883	984,381
売上原価	690,922	710,178
売上総利益	269,960	274,202
販売費及び一般管理費	238,009	227,122
営業利益	31,950	47,080
営業外収益		
受取利息	134	50
為替差益	3,461	1,133
その他	1,254	968
営業外収益合計	4,850	2,152
営業外費用		
支払利息	584	564
その他	0	0
営業外費用合計	584	564
経常利益	36,216	48,668
特別利益		
固定資産売却益	—	190
特別利益合計	—	190
特別損失		
固定資産除却損	—	246
特別損失合計	—	246
税引前四半期純利益	36,216	48,612
法人税、住民税及び事業税	24,465	20,063
法人税等調整額	△14,684	△6,566
法人税等合計	9,780	13,496
四半期純利益	26,436	35,116

（3）財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社は、自動包装機械製造事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。